

## 「中学生との語る会」

日時：10月6日（日） 午前10時30分から（会 場：区役所庁議室）

### ◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、「ボール遊びが安全に、安心してできる公園がたくさんある台東区」です。</p> <p>現在、台東区にある公園でボール遊びなどができる公園は7か所ありますが、私が住んでいる地域には、近くにそういった公園がありません。私が小学生の頃、近くにボール遊びができる公園がなくて、残念な思いをしたのを覚えています。</p> <p>子供にとって「皆が安心・安全に思いきり遊べる公園というものは大事なものである」と私は考えます。また、「ボール遊びができる公園」というものは子供にとって貴重な存在であり、たくさんあれば一気にまちがにぎやかに、笑顔になっていくと思います。</p> <p>改めて、私は「ボール遊びが安全に、安心してできる公園がたくさんある台東区」になってほしいと思います。</p>	<p>現在台東区には、公園が50か所、児童遊園は22か所で、合わせて72か所あります。その中で、ボール遊びができるスポーツコーナーが、7か所あります。</p> <p>「ボール遊びできる公園がたくさんある台東区にしたい」というのは、私も同じ思いですが、台東区は東京23区で一番面積が小さい区で、公園も小さいところが多いですよね。そのため、安全面などを考慮し、新たにスポーツコーナーを設置するには比較的大きな公園に限られますが、この度、地域の方々と様々な検討を重ね、来年には小島公園に新たなスポーツコーナーを整備することになりました。現在、その準備を進めており、完成したらぜひ利用してみてください。</p> <p>公園は子供からお年寄りまで、多くの皆様に楽しく安全にご利用いただけることが理想だと思います。これからも子供たちが安全・安心に遊べて、笑顔があふれる台東区になるよう私も頑張ります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>台東区は外国の方が多いと思います。そこで私は、20年後、台東区は外国の方との交流をして、区民の語学の勉強や異文化を知ることができるようなところになってほしいと考えました。</p> <p>1時間程度交流するイベントを開催して、お互いに言語を交互に教え合ったり、お互いの国の料理を一緒に作ったりして交流できる機会をつくっていくと、語学や異文化について知ることができる場所になると思います。</p> <p>今よりも外国の方との交流が盛んになり、外国人住人が増えていくと良いなと思います。</p>	<p>多くの国と地域の方々と交流ができ、様々な言語や文化を学ぶことができれば、とても良い経験になりますよね。</p> <p>国籍などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係で地域の一員として共に生きていくことを、「多文化共生」と言います。台東区でも「多文化共生」の地域社会の実現に向けて取り組んでおり、たとえば、複数の言語での区からのお知らせの発信や、皆さんの中にも参加された方がいるオーストラリアへの海外派遣などもこの取り組みの一環です。</p> <p>今回いただいたご提案も参考にしながら、今後も地域で暮らす外国人と日本人が交流できる機会をつくっていきたいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕は、未来の台東区は「何だかいいまちだよね」と思えるまちになれば良いと思います。台東区が、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展し活気にあふれて繁栄したら良い</li> <li>・福祉が充実したら良い</li> <li>・笑顔や優しさがあふれたら良い</li> <li>・伝統が守られたら良い</li> <li>・安全、安心なまちになったら良い</li> </ul> <p>これら全て僕は必要な改革だと思います。</p> <p>ただ、「～だから良い」「～だからしょう」という考えでまちづくりをしていくのはキリがないと僕は思います。このような台東区を目指して改革をしていったら、みんな息が詰まってしまうのではないかと思います。何となく、「何だかいいんだよね、台東区」「何だか落ちつくんだよね、台東区」という考えも僕は必要だと思います。</p>	<p>様々なところで、皆さんの暮らしが便利になったり、豊かになったり、笑顔があふれるような、ふと気づいたら「何だかいいなあ」と思える、そんなまちが良いなと私も思います。</p> <p>区では「台東区長期総合計画」を定め、様々な取り組みを行なっています。この計画は、10年後に目指す台東区の姿について書かれており、今回発表してくれた「こうなったらいいな」というものも盛り込まれています。たとえば、「福祉が充実したら良い」ということですが、10月1日に竜泉福祉センターがオープンしました。愛称を「いきいきてらす」と言い、お年寄りをはじめ、様々な世代の皆さんが交流したり、活動したりする場所として整備しました。</p> <p>今後も皆さんに、「何だかいいまちだな」、「台東区に住んで良かったな」と思ってもらえるように、様々な事業に取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は20年後、常に安心・安全な台東区であってほしいです。</p> <p>私の家から学校までの道は通路が狭く、人が2人並ぶとふさがってしまいます。生徒たちは道をふさがないように気をつけて通行していますが、後ろから自転車が歩道を走ってきて、ぶつかりそうになる場面を何度か目撃しました。ほかにも自転車駐輪禁止の場所に自転車が止まっていることで、歩道を狭くしてしまう場所も多くあります。</p> <p>自転車は交通手段としてとても便利な乗物です。しかし、扱い方を間違えてしまうと迷惑をかけてしまう場面も多くあります。自転車に乗る人や、そうでない人が気持ちよく生活をするができるように、自転車に対しての取り組みを強化してほしいです。20年後、今よりも便利で安心・安全な台東区になってほしいと思います。</p>	<p>自転車は原則、車道の左端に寄って走ることになっており、やむを得ず歩道を通行するときは車寄りの部分を通行し、歩行者の通行を優先しなければなりません。</p> <p>区では、そのような自転車に関する交通ルールやマナーを学んでもらえるよう、「自転車安全利用講習会」を実施しています。</p> <p>また、安全安心な台東区をつくっていくには、区役所以外にも警察の協力も必要不可欠です。これからも、区と警察で連携し、20年後も区民の皆さんにとって安全安心な台東区となるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、法律が改正され、令和5年4月から「自転車に乗る人はヘルメットを着用するよう努めましょう」というルールが加わりました。</p> <p>ぜひ、自転車に乗る際はヘルメットを着用するなど皆さんにも協力していただき、一緒に安全・安心なまちをつくっていければと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区民が安心・安全に暮らせるようになってほしいです。</p> <p>最近では自然災害などが増えてきて命が脅かされています。そのため、命を守るための具体的な施策として、各家庭へシェルターの設置を促すのはいかがでしょうか。</p> <p>私は海外に数年住んでいたことがあり、ここでは各家庭に必ずシェルターが設置されていました。集団で利用できる大きなシェルターもあります。移動に時間がかかったり、新型コロナウイルスなどの感染症対策が必要になったり、いろいろな課題が生まれます。そのため各家庭にシェルターを設置することにより、台東区民が安心・安全に暮らせると考えます。</p>	<p>今回ご提案いただいたように、災害時に自宅で避難ができれば、少しでもストレスを感じることなく、過ごすことができると思います。</p> <p>区では現在、地震発生時に自宅が倒れていなかったり、洪水によって浸水していなかったりする場合には避難所等に行かずに、自宅で生活を送る「在宅避難」を推奨しています。しかし、在宅避難をするためには、日頃から生活必需品の備蓄が必要不可欠です。</p> <p>飲料水は1人1日3リットルを目安に、3日分用意することが必要とされています。また、当然食料品や、水道が止まってしまったためのために携帯トイレなども必要になります。</p> <p>最近では自然災害が増えてきているので、ぜひ皆さんも日頃から災害への備えを確認していただきたいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が台東区に暮らして思ったのは、台東区には花火の間屋さんが多いのに、花火のできる場所が少ないと感じました。そのため、リバーサイドスポーツセンターや初音の森を期間と時間を決めて、区民が自由に手持ち花火等をできるようにしたら良いなと思いました。</p> <p>また、台東区には時々ごみが道に落ちている場所があります。これはどこでもあり得ることですが、少しでも減らすため、誰でも参加可能なイベントやごみ箱をたくさん設置し、美しい台東区を目指すということを提案します。</p>	<p>台東区は住宅が密集している所が多く、火の不始末によって火事が起こってしまったり、近隣の住民の方に煙や音で迷惑を掛けてしまったりという点から、花火等の使用を原則禁止しています。しかし、町会などのイベントであれば公園での花火の使用を認めています。</p> <p>今回のご提案については、今後の花火利用の検討の際に参考にさせていただきます。</p> <p>また、路上にごみ箱を設置すると様々なごみを捨てられてしまうなどがあり、台東区では、ごみは各自で持ち帰り、分別して出していただくようお願いしています。</p> <p>ご提案の清掃イベントについては、参加しやすいように工夫するなど、皆さんと一緒に、より美しい台東区を目指していきたいと思っています。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は台東区が10代や20代が積極的に地域行事に参加する、活気あふれる区になってほしいと考えます。幼少期から父の影響で町会行事やラジオ体操に参加してきた経験から、若者が主体となることで、地域がさらに元気になると信じています。</p> <p>これまでの活動においても、若い世代のエネルギーやアイデアが地域に新しい風を吹き込むと感じています。たとえば、地域行事の企画や運営に若者が関わることで、より多くの人に参加しやすくなり、地域全体の活性化が進むでしょう。</p> <p>台東区がもっと魅力的で活気あふれる地域となるために、若者が中心となって地域の未来をつくるのが重要だと考えます。</p>	<p>私も若い方々にもっと地域の活動に参加していただければ、台東区はもっと活気あふれるまちになると思います。そのために区では、若い方々と地域とのつながりを強化するための取り組みを行なっています。</p> <p>その1つに、中高生のボランティアの方と地域の皆さんとが協力して毎年開催している「青少年フェスティバル～下町っ子祭り～」があります。</p> <p>また、町会の活動はイベントを企画するだけでなく、防犯パトロールを行なったり、災害に備えて防災訓練を行なったりするなど、我々住民にとってとても大切なものです。しかし現状、その活動を引き継ぐ人が少ないことが課題となっています。</p> <p>そのため、このような取り組みをこれからも続けていくためには、皆さんのような若い方々の協力が必要です。皆さんに町会などの地域活動に参加してもらえたら、私も嬉しく思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私たちは毎日学校に行くためにグリーンロードという橋を渡っています。その橋について気になる点がいくつかあります。</p> <p>1つ目は、フェンスが低いことです。雨天時や混雑時など落下の恐れがあり、危険を感じます。</p> <p>2つ目は、階段についてです。雨の日は滑りやすく、階段の幅が狭いので転んでしまいそうなことがありました。</p> <p>フェンスを高くするなど橋の改善をすれば、より安心・安全に通学ができ、事故のリスクを減らせると思います。このような危険な場所の改善を通し、台東区全体の安全も高めて行ってほしいです。</p>	<p>「グリーンロード」と呼ばれている「凌雲橋歩道橋」は、区やJRで日常的に安全点検をしていますが、フェンスや階段の幅などを大きく変えることは難しい状況です。ただし、階段の段差部には滑り止めテープを貼っており、劣化した部分は貼り替えるなど、随時、利用者の安全に配慮した対策を行なっています。</p> <p>なお現在、凌雲橋の架け替えについて、台東区とJRと一緒に進めています。これが実現すればご指摘の点の多くは解決すると思いますが、費用や工事中の交通の影響など、多くの検討事項があります。</p> <p>通学路をはじめ、区内の危険な場所を改善することが、区民や台東区を訪れる方々の安全・安心につながるというのは、おっしゃるとおりだと思います。私たち大人では気づかないような点もあると思いますので、皆さんの目線から気づいたことがあれば、また教えていただけるとありがたいです。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私はもっと学校の設備が充実している台東区になってほしいです。たとえば、エレベーターをつけたり、仮眠室を作ったりするなど、生徒たちがより学業に集中できるような学校になってほしいと思います。</p> <p>また、学生たちの楽しみの1つである部活にももっと支援してほしいです。そうすることで学校へ行くことがより楽しくなり、学習への意欲が高まることで、将来、台東区に貢献できる人材が育つと思います。</p>	<p>区では、小中学校の設備について、具体的な計画を立てて維持管理や修繕を行なっています。</p> <p>また、様々な立場の生徒の皆さんが快適な学校生活を送れるよう、バリアフリーの視点を大切にしています。エレベーターの設置は、学校のバリアフリー化を進めるにあたって重要なことであり、全校設置に向けて取り組んでいます。</p> <p>また、部活動も学校生活を充実させるのに大切な要素の1つです。ただし、全国的に生徒数の減少が進む中、人数の少ない部活動は休止や廃部になっています。</p> <p>その対策として、部活動を学校単位ではなく地域で行う取り組みを始めており、現在は休みの日に陸上競技の「地域クラブ」を実施しています。今後は他の種目や、現在の部活動にはない種目の「地域クラブ」についても検討し、皆さんが活動できる場を増やしていけるよう取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える「未来の台東区」は、知名度や観光客が増え、もっと豊かになってほしいと思います。今も人気の浅草の浅草寺や、上野の東京国立博物館は残してほしいです。</p> <p>また、オリンピックで活躍したフェンシングの松山選手は、台東区の小学校出身です。このような台東区出身の著名人を増やすために、子供への支援ももっとしてほしいと思います。</p> <p>今も過ごしやすい台東区ですが、将来はもっと有名で生活もしやすくしてほしいです。</p>	<p>台東区には国内外の方から人気のある場所がたくさんあり、区全体に観光客の皆さんが多く訪れています。おもてなしや観光マナーの啓発など、区として受け入れる準備もしながら、今後もたくさんの方々に訪れていただきたいと思っています。</p> <p>また、パリ・オリンピックで金メダルに輝いた松山選手は、台東区のフェンシングクラブで子供のころから練習をして、世界の頂点に立ちました。松山選手が台東区で競技を始めて世界で活躍されているように、台東区の子供たちが様々なところで活躍できるよう、これからもその環境づくりに取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は20年後の台東区に、道にごみが1つも落ちていないまちになってほしいです。</p> <p>最近コロナウイルスが落ち着いてきたこともあり、外国人観光客がこのまちに多く訪れるようになりました。それはとても良いことだと思うのですが、それに伴って道端にごみが落ちていたり、公園のごみ箱があふれかえっていたりする様子を見かけることが増えました。このように、まちの景観が悪くなると、台東区のイメージが損ねられてしまうと思います。</p> <p>そこで、区内の中学生がまちのごみを拾うボランティア活動を行ったり、まちのごみ箱の設置数を増やしたりすれば、落ちているごみの数も減少し、おのずときれいな状態が保たれると思います。</p> <p>これからは、台東区が今以上に美しいまちになるために、自分もボランティア活動などを行なって貢献していきたいと思っています。</p>	<p>最近国内外からの観光客の方が増えてきており、中には、マナーの理解が不十分で、ごみを道に捨ててしまう方もいらっしゃいます。</p> <p>そのため台東区では、パンフレットや区の公式ホームページでのお知らせなどを作成し、日本の基本的な観光マナーを知ってもらう取り組みを行なっています。</p> <p>また、「ボランティア活動を行う」という、行動に移す気持ちを持っていただいていることを大変嬉しく思います。まちの美化活動は、まちをきれいにするだけでなく、地域に愛着をもつことができる重要な取り組みだと思っています。</p> <p>まちをきれいにする取り組みの1つである「大江戸清掃隊」は、学校だけではなく、個人の方でも登録することができます。登録後は、清掃用具や清掃隊お揃いの半纏、たすきを使用することができます。ぜひ、登録していただき、20年後にごみが1つも落ちていない台東区の実現に向けて、一緒に取り組んでいきたいと思っています。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>夏休みに海外派遣団の一員として、オーストラリアに行かせてもらいました。日本ではできない初めての体験をたくさんさせてもらい、「台東区の中学生で良かった」と心の底から思いました。</p> <p>しかし、もし行けていなかったらすごく悔しかったと思います。台東区に行きたいと希望する中学生全員が行けたら、皆の経験値が上がって、みんなも「台東区の中学生で良かった」と思えるのではないかと思います。</p> <p>また、台東区の中学校にサッカー部がなく、周りの大人の人たちにたくさん相談しました。今ようやく中学生フットサルクラブを作ってもらうことができました。本当は部活動として活動したいのですが、顧問や場所等の問題があり、難しいと言われました。</p> <p>中学校は3年間しかありません。台東区の中学生が地域でやりたいことができる、「子供の願いが叶うまち」をつくってほしいです。</p>	<p>「中学生海外短期留学派遣」に参加されたということで、海外での生活や交流を通じ、日本にいただけでは味わえない経験ができ、充実した夏休みになったと思います。</p> <p>この海外派遣は「外国人へ尊敬の気持ちを忘れず、また外国人から信頼される人になってもらいたい」という思いから行なっている取り組みです。ぜひオーストラリアでの生活で思い出に残っていることや、感じたことなどをお友達にお話ししてみてください。</p> <p>また、区では部活動も含め、中学生の皆さんがやりたいことを思いきりできるような環境づくりに努めています。その全てを実現させることは難しいのが現状です。ただ、今後も「こんなことをしてほしい」ということがあれば、聞かせてもらえればと思います。そして、「台東区の中学生で良かった」と思っていただけのように、今後も取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>今は、あまり区民の意見を聞く場が少ないと思います。私が知らないだけで実際はたくさんあるのだとしたら、知らない人が多いと思います。そのため、そういう区民の意見が聞けるような場（アンケートの紙を置いておくなど）を増やし、その場をみんなが知っているような台東区になってほしいなと思います。また、そのような場が増えても、かたい感じだとみんな意見が言いにくいと思うので、気軽に意見が言えるような環境をつくるのが大切だと思います。</p> <p>そして、子供が意見を言えることも大切だと思います。今公園でボールを使うことは禁止されているのに、時間を決めておじいちゃんやおばあちゃんはゲートボールをしています。そのため、子供も時間を決め、ボールを使えるようにしたら良いと思いました。</p> <p>こういう意見を言える場をつくり、なるべく多くの人々が納得するような地域づくりに力を入れてほしいと思います。</p>	<p>台東区では、区民の皆さんから区の取り組みに対して意見や提案をしてもらい、「区長への手紙」という制度があり、区のホームページや専用のはがき、電話、窓口に来てもらうなど、様々な方法でご意見をいただいています。</p> <p>専用のはがきは、区内の様々な場所で配布しており、お送りいただいたものに対して回答をしています。</p> <p>いただくご意見は大人の方からのものが多いですが、今後、より台東区を良くしていくためには、中学生の皆さんも含めた、幅広い年代の方からご意見をいただくことが重要だと思います。</p> <p>本日も皆さんから将来の台東区について発表してもらっていますが、これからも皆さんから様々なご意見やご要望をお聴きし、様々なことに取り組んでまいります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>20年後の台東区は、安心・安全で魅力あふれるまちになってほしいです。たとえば、今進められている無電柱化を台東区全体に広げ、完全なものとなってほしいです。なぜなら、子供の頃、妹が電柱に顔をぶつけてしまったからです。また、道を滑らかにし、幅を広げてほしいです。道がガタガタで転んだときに、怪我が大きくなってしまったことがあったからです。</p> <p>このように、車椅子やベビーカーを利用している人、小さな子供から高齢者の方まで安心できるまちになってほしいです。</p> <p>そして、上野や浅草などでは昔ながらの雰囲気を残しつつ、耐震性を高め、長く住み続けられるまちになってほしいと思います。</p> <p>誰もが笑顔で過ごせる台東区になってほしいと思います。</p>	<p>歩行者はもちろん、車いすやベビーカーも移動しやすい道路にすることは、とても重要です。</p> <p>お話のあった無電柱化によって、大きな地震が発生したとき、電柱が倒れて道がふさがるといった危険もなくなり、防災機能の強化にもつながります。そのため、台東区でも2020年度から2029年度の間、具体的な計画を立てて取り組んでいます。しかし、良いことがある反面、お金や時間がかかってしまうという課題があるため、道路の中で優先順位をつけて取り組んでいます。</p> <p>また、誰もが安全に安心して移動できる道路にするため、歩道の段差を小さくしたり、平坦にしたりする、バリアフリー化に取り組んでいます。</p> <p>これからも、20年後に安心・安全で暮らせる台東区になるよう、道路の整備に取り組んでまいります。</p>